

平成28年度強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)指導者研修プログラム

日にち:平成28年6月2日(木)～3日(金)

場所:中央法規出版本社ビル多目的ホール

6月2日(木)	講義名	内 容	講 師 (敬称略)
9:30～	受付		
9:50～10:00	インフォメーション		
10:00～10:30 講義0.5H	プロローグ ～強度行動障害のある人についての基本的な理解～	強度行動障害とは	片桐公彦 (全国地域生活支援ネットワーク)
		行動障害のある人への支援のこれまで	
		行動障害のある人が困っていること	
		行動障害への挑戦の意義と必要性	
10:30～11:30 演習1.0H	私たちが困っていること ～感覚の違いを体験しよう～	演習①「作業(視覚的な手がかりがない場合、ある場合)」	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
		演習②「作業(軍手をはめて)」	
		演習③「騒がしい環境での聞き取り」	
		演習④「狭い視野での活動」	
11:30～12:30 演習1.0H	わかりにくいんです ～伝わりにくさを体験しよう～	演習⑤「意味の分からない言葉での指示」	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
		演習⑥「視覚と聴覚で違う情報」	
		演習⑦「分かりにくい提示」	
		グループ討議/まとめ	
12:30～13:30	昼休み		
13:30～14:30 講義1.0H	私たちのことを知ってほしい ～強度行動障害に関係する障害について～	自閉症スペクトラム障害について	大橋一之 (全国地域生活支援ネットワーク)
		知的障害/精神障害について	
14:30～15:30 講義1.0H	ボクらと世界のつながり方 ～環境を整えることの大切さ～	支援に必要な環境整備・環境調整	大橋一之 (全国地域生活支援ネットワーク)
		構造化の基本と手法	
15:30～15:40	休憩		
15:40～17:10 演習1.5H	やりやすくする ～整えられた環境での活動～	演習⑧「本人に伝わりやすい環境と活動」	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
17:10～18:10 特別講義	知ることから始めよう ～根拠を持って支援する～ 私たちの行動のわけ ～行動の生じる理由と対応を知る～	アセスメントの大切さ	神田 宏 (横浜やまびこの里)
		アセスメントの具体的な方法	
		行動の理解	
		行動障害への対応のヒント	

※内容や講師や変更になる場合もあります。

6月3日(金)	講義名	内 容	講 師
8:30~	受付		
9:00~9:30 演習0.5H	知ることから始めよう ～根拠を持って支援する～	演習⑨「アセスメント」 アセスメントとは／情報の入手とその方法	下里晴朗 (全国地域生活支援ネットワーク)
9:30~11:00 演習1.5H	本当の理由を考えよう ～冰山モデルで考える～	演習⑤「冰山モデル」 行動障害を理解する冰山モデル グループ討議／まとめ	下里晴朗 (全国地域生活支援ネットワーク)
11:00~11:30 講義0.5H	みんなでやろうよ ～支援のプロセスとチームプ レイの大切さ～	支援の基本的枠組み サービス等利用計画について～支援の基本的プロセス～ 個別支援計画と支援手順書について 記録と情報共有	藤井 亘(NPO法人みらい)
11:30~12:00 演習0.5H	お互いに共有しよう ～記録と情報共有～	演習⑩「記録と情報共有」 記録とそのまとめ方と情報共有	下里晴朗 (全国地域生活支援ネットワーク)
12:00~13:00	昼休み		
13:00~14:00 講義1.0H	ひとりで悩まないで ～支援者ケアの大切さ～	援助することと感情労働 援助者のストレスケアの方法	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
14:00~14:30 講義0.5H	そのとき、あなたはどうしますか ～障害者虐待、身体拘束、行動制 限の防止は支援の向上から～	障害者虐待防止法とは 行動障害と虐待 虐待をしない・させないために	曾根直樹 (厚生労働省)
14:30~14:40	休憩		
14:40~15:10 講義0.5H	支える仕組み ～制度理解のヒント～	行動障害のある人を支える制度	曾根直樹 (厚生労働省)
15:10~16:10 講義1.0H	支援の現場から ～事例紹介～	児童期における支援の実際 成人期における支援の実際	神田 宏(横浜やまびこの里) 本多公恵(滝乃川学園)
16:10~17:10 講義1.0H	医療と一緒に ～福祉と医療の連携～	行動障害と医学的な診断 行動障害と医療的アプローチ 福祉と医療の連携	市川宏伸 (東京都立小児総合医療センター)

※内容や講師や変更になる場合もあります。